

# 決算の状況

## I 決算概況

- (1) 平成26年度一般会計の決算内容についてみると、歳入決算額は2兆9,815億円で、諸収入及び府債が減少したものの、府税及び地方譲与税が増加したこと等により、449億円、率にして1.53%増加している。
- (2) 一方、歳出決算額は2兆9,684億円で、公債費及び貸付金支出が減少したものの、人件費及び補助費等が増加したこと等により、670億円、率にして2.31%増加している。
- (3) 形式収支は、131億円の黒字を計上し、9年連続の黒字となった。形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も、39億円の黒字となったが、前年度に比べ、185億円減少している。
- (4) 一般会計と特別会計(Ⅱ 3 特別会計 参照)の額を合算したもののから地方公営企業会計に係る収支を除いた普通会計ベースでの実質収支は、66億円となっており、前年度に引き続き赤字を回避している。財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、26年度は、府税収入が増加したものの、職員の給与減額措置のカット率縮小や給与月額を上げたことにより人件費などが増加したため、前年度より1.2ポイント上昇し、99.9%となった。

平成25年度及び平成26年度一般会計決算

(単位:億円)

		26年度	25年度	差引
予 算 現 額		30,338	29,727	611
歳 入 決 算 額 A		29,815	29,366	449
主 な 科 目	府 税	12,021	11,171	851
	法 人 二 税	3,292	3,049	242
	地 方 消 費 税	3,346	2,712	634
	地 方 譲 与 税	1,745	1,456	289
	地 方 特 例 交 付 金	42	46	△ 4
	地 方 交 付 税	2,764	2,844	△ 80
	国 庫 支 出 金	2,334	2,545	△ 211
	繰 入 金	585	673	△ 88
	諸 収 入	3,969	4,538	△ 569
	府 債	3,379	3,781	△ 402
歳 出 決 算 額 B		29,684	29,014	670
主 な 科 目	義 務 的 経 費	12,210	12,250	△ 40
	人 件 費	8,340	7,820	520
	公 債 費	3,430	3,965	△ 535
	扶 助 費	440	465	△ 26
	投 資 的 経 費	1,689	1,496	193
	そ の 他 経 費	15,785	15,267	518
	補 助 費 等	10,489	9,605	884
	貸 付 金	3,558	4,163	△ 605
形 式 収 支 C=A-B		131	352	△ 221
翌年度繰越財源 D		92	128	△ 36
実 質 収 支 C-D		39	224	△ 185

注：形式収支＝歳入決算額－歳出決算額

実質収支＝形式収支－翌年度繰越財源(翌年度繰越額から未収入特定財源を差し引いたもの)